

教科(科目)	産業社会と人間	単位数	2単位	学年(コース)	1年次（原則必修科目）
使用教科書	学事出版『産業社会と人間』				
副教材等	なし				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	①地域と連携する活動をととして、地域に愛着を持ち、将来にわたり地域社会に主体的に貢献しようとする姿勢を育成します。 ②防災減災学習や地域理解学習をととして、地域の課題を自分事として捉え、解決しようとする態度を育成します。 ③豊かな心を持ち、思いやりをもって自他を尊重し、国際化に対応したコミュニケーション能力を育成します。
カリキュラム・ポリシー	①基本的な生活習慣を確立させる生徒指導や人権教育、同和教育の推進をととして、規範意識・社会性の涵養、いじめを許さない態度の育成をするための教育活動を展開します。 ②3年間の系統的で継続的な「白嶺HS」(ホップ・ステップ・ジャンプ)プランによるキャリア教育や防災減災学習により、学力向上、進路実現を目指すための指導や取り組みを推進します。 ③職業理解、地域理解を深め、地域課題を解決しようとする態度を育成するため、地元の産業界、関係機関等との連携・協働を推進し、地域の復興や活性化に向けた教育活動に取り組みます。

2 学習目標

自分の生き方と進路について主体的に考え、何を学ぶべきかの目標を持ち、自分のプランに合わせ、2年次以降の具体的な科目選択で何を選択したらよいかを学びます。

3 指導の重点

- ・授業ごとにまとめや感想等を産社ノートに記入し提出させることで、事項をまとめる力や表現力を高める。
- ・グループワークやアクティブラーニングを導入し、主体的に思考する力を養う。

4 評価の観点の趣旨

a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
様々な職種・産業を知り、それらの社会的意義、地域での役割などを理解しようとしている。	自分の興味や適性に応じて進路を考え、それに応じた科目選択を行おうとしている。	それぞれの学習内容に対し、意欲的に取り組もうとしている。

5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
評価方法	様々な職種・産業を知り、それらの社会的意義、地域での役割などを理解しようとしている。	自分の興味や適性に応じて進路を考え、それに応じた科目選択を行おうとしている。	それぞれの学習内容に対し、意欲的に取り組もうとしている。
	各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。		

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価の観点と評価方法
4	I 導入 1. ガイダンス	教科書 プリント	・総合学科の特色および「産業社会と人間」のねらいを理解する。	10	「振り返りシート」・レポート提出 b, c
5	II 生きていく こと働くこと 1. 職業研究 2. 職業人インタビュー	教科書 プリント	・様々な職業を調べ、視野を広げると共に、自分の興味を把握する。 ・働く人へインタビューをし、働く人の気持ちや率直な職業観から職業への理解を深める。	12	「振り返りシート」・レポート提出 a, b
5					
6	III 履修計画 1. 系列・科目別ガイダンス 2. 履修のための体験授業 3. 選択カウンセリング 4. 選択レポート	教科書 プリント	・2年次以降の科目選択について、各科目の学習内容と、その知識や技術が必要とされる進路を理解する。それにより、自身の希望進路に応じた科目を選ぶ力を身につけ、主体的に科目選択を行う。		
7	IV 地域と産業 の結びつき	教科書 プリント	・地域の地形の特徴を知り、産業との結びつきから地域を理解する。	15	「振り返りシート」・レポート提出 a, b
9	1. 現地研修		・実際に地域で働く大人たちへインタビューをし、地域と人のつながりを知る。		
10					
11	V 社会の中で 生きること	教科書 プリント	・地域の特徴を知り、起こりうる災害とその対処法を学ぶ。	17	「振り返りシート」・レポート提出 b, c
12	1. 防災・減災 学習		・地域が抱えている課題を理解し、解決のために将来やりたいことを考える。		
1	2. 地域が抱えている課題を 理解し、その 解決のために 将来できるこ とを考える		・実際に起こった災害を参考にして、今後の取り組みを考える。		
2	VI なにを学び ますか、どう 生きていきま すか		・1年間を通じて学んできたことを振り返り、不足している点やより深く学習してみたい点を見つけさらに深く学習する。	16	「振り返りシート」・レポート提出 a, c
3			・来年度に向けて、追究してみたい課題を発見する。		

計70時間(50分授業)

7 課題・提出物等

活動毎にワークシートを提出してもらいます。

8 担当者からの一言

「世の中にはどのような職業があって、自分はどんな仕事に適しているのか。」「社会人として心がけなければならないことはどんなことか。」産社の授業を生かして、自分の進路をしっかりと見つめてゆきましょう。また、グループワークも行われます。自分の意見をしっかりと表明するなど、積極的に取り組んでゆきましょう。

(担当：小嶋・谷井・権瓶・南雲・山下・細山・松尾)